

人気アーティストの演奏をじっくり楽しむ、お昼前の贅沢なひととき。

— 芸劇ランチコンサート —

名曲リサイタル・サロン

Recital Salon With Masterpieces

大好評、毎偶数月開催の“清水和音の名曲ラウンジ”と人気を競う
芸劇ランチコンサート・シリーズ“名曲リサイタル・サロン”は毎奇数月に開催です。
東京芸術劇場コンサートホールを舞台に、今人気のソリストが登場！
朝11時から約1時間、八塩圭子のナビゲートで特別なりサイタルをお楽しみください。



©T.Shimmura

第24回 2023.5.24(水) 福間 洸太郎 (ピアノ)

《生誕150年記念 オール・ラフマニノフ・プログラム》

リラの花(ラフマニノフ自作編曲) パガニーニの主題による狂詩曲より第18変奏(ピアノ編曲:Le Coustumer)

幻想的小品集op.3より「エレジー」 前奏曲『鐘』『メロディ』

前奏曲op.32より 第1番ハ長調、第2番変ロ短調、第5番ト長調、第10番ロ短調、
第11番ロ長調、第12番嬰ト短調、第13番変ニ長調



©Yuji Hori

第25回 2023.7.12(水) 酒井 有彩 (ピアノ)

ショパン:エチュード「エオリアン・ハーブ」

メンデルスゾーン:無言歌集より「浜辺にて」「紡ぎ歌」

J.S.バッハ=ブゾーニ:シャコンヌ

シューマン=レア・レヴィンソン:ミルテの花より「くるみの木」

シューマン:アベツグ変奏曲 クライスラー=ラフマニノフ:愛の喜び



©Yoshinobu Fukaya

第26回 2023.9.20(水) 新倉 瞳 (チェロ)

サン=サーンス:白鳥

フォーレ:シシリエンヌ

バルトーク:ルーマニア民俗舞曲

ショスタコーヴィチ:ジャズ組曲 第2番 より ワルツⅡ

ショスタコーヴィチ:チェロ・ソナタ



©Takaaki Hirata

佐藤卓史
(ピアノ)

ナビゲーター:八塩圭子(全回出演)

各回11:00開演(10:30開場) 全席指定:2,400円(各回・税込)

東京芸術劇場コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 JR、東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道「池袋駅」西口徒歩2分。(池袋駅地下2b出口直結)

主催:毎日新聞社 MIYAZAWA & Co. 提携:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

本公演は5歳以上の方の入場が可能です。但し、お席は必要です(4歳以下入場不可)

託児サービス(有料・定員制・要事前申込) 申込・問合せ:0120-415-306
(土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)

お問い合わせ サンライズプロモーション東京
0570-00-3337(平日12:00~15:00)

公演情報は MIYAZAWA&Co. 検索

チケット
発売日 2023年1月25日(水)
(3公演同時発売)

チケット取扱

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00) <https://www.geigeki.jp/t/>
チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:5月公演・234-385、7月公演・234-386、9月公演・234-387)
ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード:36234) イープラス <https://eplus.jp>

Tokyo Metropolitan Theatre Brunch Concert
Recital Salon With Masterpieces

第24回 2023.5.24(水)

福間洸太郎

今年、生誕150年となるラフマニノフの特集プログラムです。5月、ロシアではラフマニノフが大好きだったリラの花が咲き乱れ、福間洸太郎はコンサートをこの曲で始めます。そして耳馴染みの小品をお聴きいただき、最後はラフマニノフの作品の中でも演奏することが極めて難しいとされる「前奏曲」を披露します。

第25回 2023.7.12(水)

酒井有彩

国内外のコンクールで数多くの入賞を重ねてきた酒井有彩の登場です。オーケストラとの共演も多い人気ピアニストの今をお聴きください。ショパンとシューマンの名曲そしてバッハ=ブゾーニのシャコンヌは酒井の得意とするプログラム。プログラムの最後はラフマニノフ編曲の難曲「愛の喜び」をお楽しみください。

第26回 2023.9.20(水)

新倉 瞳

人気チェリスト・新倉瞳の登場です。コンサートの前半はサン=サーンスの「白鳥」など、誰もが知っているチェロの小品が並びます。メインディッシュのショスタコーヴィチのチェロ・ソナタでは名ピアニスト・佐藤卓史との共演ということもあり、名演が期待されます。



八塩圭子
(ナビゲーター)
Keiko Yashio
(Navigator)

東洋学園大学現代経営学部教授、フリーアナウンサー、コメンテーター上智大学卒業後、テレビ東京入社。03年からフリー。大晦日恒例の「ジルバスターコンサート」の司会を担当したことからクラシックファンに。全日空の機内オーディオでクラシックチャンネルのナビゲーターも務めていた。トップ企業との対談やイベント・コーディネートなど、活躍の場も幅広い。



福間洸太郎(ピアノ)

Kotaro FUKUMA. (Piano)

20歳でクリーヴランド国際コンクール日本人初の優勝およびショパン賞受賞。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。これまでにカーネギーホール、リンカーン・センター、ウィグモア・ホール、ベルリン・コンツェルトハウス、サル・ガヴォー、サントリーホールなどでリサイタルを開催する他、クリーヴランド管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラと多数共演してきた。2016年7月には故ネルソン・フレイレの代役として急遽、トゥルーズ・キャピトル国立管弦楽団定期演奏会において、トゥガン・ソビエフの指揮でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏し喝采を浴びた。CDは「バッハ・ピアノ・トランスクリプションズ」、「France Romance」(ナクソス)など、これまでに18枚をリリース。そのほか、珍しいピアノ作品を取り上げる演奏会シリーズ『レア・ピアノミュージック』のプロデュースや、自身のYouTubeチャンネルでの演奏動画、解説動画、ライブ配信などで幅広い世代から注目されている。NHK テレビ「クラシック音楽館」や「クラシック倶楽部」などメディア出演も多数。第39回日本ショパン協会賞受賞。

公式サイト <https://kotarofukuma.com/>



酒井有彩(ピアノ)

Arisa SAKAI (Piano)

文化庁新進芸術家在外研修員として渡欧。ベルリン芸術大学を最優秀で卒業、ドイツ国家演奏家資格取得。幼少よりピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会、全日本学生音楽コンクール他多数入賞。浜松国際ピアノアカデミーにてプロミシング・アーティスト賞、堺国際コンクール一般部門第1位、マルサラ市国際コンクール第2位、ブゾーニ国際コンクールファイナルスカラシップ、ジュネーブ国際コンクールセミファイナリスト、レオポルド・ベラン国際コンクール第1位など国内外にて多数入賞。ポーランド国立放送響、リベランプレート響、東響、群馬響、大フィル、関西フィル、日本センチュリー響等と共演。また、クラウディオ・クルス、大友直人、大山平一郎、飯森範親、藤岡幸夫、角田鋼亮等の著名指揮者と共演している。2021年に大阪響(指揮:横山奏)とラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を共演、「音楽の友」誌にて「優しさと厳しさが入り混じった世界を巧みに描き出した」と絶賛された。NHK Eテレ「クラシック音楽館」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等に出演。デビューCD「ラヴェル ピアノ協奏曲」はレコード芸術誌の特選盤に選出された。www.arisasakai.com



新倉 瞳(チェロ)

Hitomi NIKURA (Cello)

2003年いしかわミュージックアカデミーにてIMA音楽賞を受賞し、アメリカ/アスペン音楽祭に奨学生として参加。2007年第28回霧島国際音楽祭にて霧島国際音楽祭賞を受賞。2009年ルーマニア国際音楽コンクール室内楽部門にて第1位を受賞。2015年スイスのベルンで開催されたOrpheus Kammermusikwettbewerbにて入賞。同年、ポルトガルのリスボンで開催されたInternacional Verão Clássico 2015チェロ部門にて第1位を受賞。2016年5月スイス/ルツェルンの高級時計ブランドCarl.F.BuchererよりPathos Woman Awardを受賞。2017年第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。第19回(2020年度)齋藤秀雄メモリアル基金賞チェロ部門受賞。

2023年度
下半期予定
7月12日発売予定



第27回
2023年11月15日(水)
石丸由佳(オルガン)



第28回
2024年1月17日(水)
辻本 玲(チェロ)



第29回
2024年3月6日(水)
田部京子(ピアノ)